

「キリン一番搾り 糖質ゼロ」が上方修正目標達成！
酒税改正後^{※1}の販売数量は、「一番搾り」ブランド缶商品が約6割増で推移
ビールの最需要期である12月下旬は「一番搾り」ブランド缶商品を約4割増産

キリンビール株式会社（社長 布施孝之）は、国内で初めて^{※2}ビールカテゴリーで「糖質ゼロ^{※3}」を実現し、10月6日（火）に発売した「キリン一番搾り 糖質ゼロ」の販売数量が、12月17日（木）時点で、上方修正した年間販売目標である約160万ケース^{※4}（20,000KL）を突破しました。

※1 10月1日（木）～12月17日（木）

※2 ビールで糖質ゼロを実現した国内で初めての商品（Mintel GNPDを用いた当社調べ）

※3 食品表示基準による

※4 大びん換算

「キリン一番搾り 糖質ゼロ」は、「一番搾り製法^{※4}」による“雑味のない澄んだ麦のうまみ”と、約5年の歳月をかけて350回以上の試験醸造を重ね、キリンビールの技術力を結集させることで、国内で初めてビールカテゴリーで「糖質ゼロ」を実現した商品です。「おいしさ」と「糖質ゼロ」を両立した商品として、幅広い層から支持いただき、11月には年間販売目標を約120万ケースから約160万ケースへ上方修正し、本日この目標を突破しました。

※4 麦汁ろ過工程において最初に流れ出る一番搾り麦汁を使う製法

10月の酒税改正でよりビールを買い求めやすくなったことをきっかけに、お客様のビールカテゴリーへの関心は高まっています。10月以降^{※1}、当社フラッグシップブランド「キリン一番搾り生ビール」缶商品の販売数量は前年比約1割増と好調に推移しています。また「キリン一番搾り 糖質ゼロ」の好調もあり、「一番搾り」ブランド缶商品の販売数量は前年比約6割増と大幅に増加し、ビールの最需要期である12月下旬には約4割の増産予定と、ビールカテゴリーの拡大に貢献しています。

当社は、「一番搾り製法」を通して、お客様にビールのおいしさと魅力をお伝えし、ビールカテゴリーの活性化、市場の拡大を実現します。

キリングループは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。

記

- | | |
|------------|----------------------------|
| 1. 商品名 | 「キリン一番搾り 糖質ゼロ」 |
| 2. 発売地域 | 全国 |
| 3. 発売日 | 2020年10月6日（火） |
| 4. 容量・容器 | 350ml 缶、500ml 缶 |
| 5. 価格 | オープン価格 |
| 6. アルコール分 | 4% |
| 7. 酒税法上の区分 | ビール |
| 8. 販売予定数 | 約160万ケース（20,000KL）※大びん換算 |
| 9. 製造工場 | キリンビール取手工場、名古屋工場、岡山工場（3工場） |



以上